

# 令和5年度 事業報告書

《事業報告及び事業報告の附属明細書》



社会福祉  
法人

千葉市社会福祉協議会



# 目次

## ■令和5年度 事業報告

<b>I 会議等</b> .....	<b>1</b>
1 理事会	1
2 評議員会	3
3 地域福祉活動計画推進委員会	4
4 内部管理体制の基本方針の運用	5
<b>II 重点項目</b> .....	<b>6</b>
法人経営部門	6
地域福祉部門	7
施設福祉部門	8
<b>III 実施事業 &lt;法人経営部門&gt;</b> .....	<b>9</b>
1 経営・財務運営	
取組項目1 経営・企画・財務部門の強化<<重点>>	9
取組項目2 民間財源の安定的確保	9
取組項目3 公費財源のあり方の見直し	9
取組項目4 事業収入の安定的確保(いきいきプラザ内デイサービスセンター)	9
2 法人組織運営	
取組項目5 中長期人材採用計画の策定	10
3 人事・労務	
取組項目6 地域福祉部門及び施設福祉部門の人事交流の実施と職務分類の整理	10
取組項目7 職場環境整備(メンタルケアの充実)	10
4 給与制度の検証	
取組項目8 専門性の高い職務に係る処遇改善の検討	10
5 人材育成及び能力開発の推進	
取組項目9 人材育成・職員研修の充実<<重点>>	11
取組項目10 業務に係る資格の取得促進	11
取組項目11 人事考課制度の検証	11
取組項目12 目標申告・育成指導の実施	12
6 危機管理対策の拡充	
取組項目13 業務継続計画(BCP)の策定	12
取組項目14 情報セキュリティ対策の実施	12
取組項目15 感染症対策の実施	13
7 広報戦略、効果的な事業実施の検討	
取組項目16 効果的な広報戦略の策定<<重点>>	13
取組項目17 市との協議や効果的な事業実施のための要望活動	13

## IV 実施事業 <地域福祉部門>..... 14

### 1 地域福祉活動計画に記載している取組項目..... 14

施策の方向性1 学びの場をつくり、福祉人材を育成する

活動計画取組項目1	ボランティア活動等の推進	14
活動計画取組項目2	福祉教育の推進	15
活動計画取組項目3	成年後見制度の普及・啓発	16
活動計画取組項目4	地区部会活動従事者に対する研修の実施	16
活動計画取組項目5	民生委員・児童委員に対する研修の実施	17

施策の方向性2 身近な地域で支援が届くしくみをつくる

活動計画取組項目6	見守り活動の促進<<重点>>	18
活動計画取組項目7	地域支えあい活動の促進<<重点>>	18
活動計画取組項目8	子どもの居場所づくりへの支援	18

施策の方向性3 いきいきと暮らせる地域をつくる

活動計画取組項目9	ふれあい・いきいきサロンの促進<<重点>>	19
活動計画取組項目10	ふれあい・子育てサロンの促進	19
活動計画取組項目11	ふれあい・散歩クラブの促進	20
活動計画取組項目12	ふれあい食事サービス事業への支援	20
活動計画取組項目13	多世代交流等の推進	20

施策の方向性4 どんな相談にも寄り添う体制をつくる

活動計画取組項目14	コミュニティソーシャルワーク機能の強化<<重点>>	21
活動計画取組項目15	地域生活課題の解決に向けた支援	21

施策の方向性5 地域の様々な団体と連携・協働する

活動計画取組項目16	権利擁護のネットワークづくり	26
活動計画取組項目17	大学と地域の連携の推進	26
活動計画取組項目18	社会福祉法人の地域における公益的な取組の促進<<重点>>	26
活動計画取組項目19	NPO・団体との連携・協働	27
活動計画取組項目20	企業等との連携・協働	27
活動計画取組項目21	災害時の体制整備の強化<<重点>>	27

<b>2 地域福祉活動計画外の主だった事業等</b> .....	<b>28</b>
○ 社協だよりの発行.....	28
○ 会長表彰.....	28
○ 「関東甲信越静ブロック都県指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」 に基づく支援	28
○ 指定管理の研修.....	29
○ 社会福祉士養成課程におけるソーシャルワーク実習の実習生受入.....	31
○ 社協賛助会員の拡大.....	31
○ 地域ふくし力アップ助成金の活用等による地域の仕組みづくりの推進.....	32
○ ボランティアグループ育成事業.....	32
○ ウクライナからの避難民に対する支援.....	32
○ 団体事務局(民生委員児童委員協議会事務局)の運営.....	33
○ 団体事務局(日本赤十字社千葉県支部千葉市地区本部事務局)の運営.....	33
○ 共同募金事業への協力.....	33
○ テーマ別地域生活課題解決応援助成〔新規〕.....	33
○ 保育士修学資金等貸付事業.....	34
○ ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業.....	35
○ 施設団体等助成事業.....	35
○ 社会福祉事業振興資金貸付事業.....	35
○ 車椅子貸与事業.....	36
○ 緊急一時的な食糧支援事業.....	36
○ 放課後児童健全育成事業.....	36
○ 千葉市子どもナビゲーター事業.....	37
○ 重層的支援体制整備事業〔新規〕.....	37

## V 実施事業 <施設福祉部門>..... 38

千葉県桜木園	38
和陽園	40
千葉県療育センター	43
(1)療育相談所	43
(2)やまびこルーム	45
(3)すぎのこルーム	46
(4)大宮学園ひまわりルーム	47
(5)大宮学園たけのこルーム	48
(6)いずみの家	50
(7)ふれあいの家	51
(8)相談支援事業所ぱれっと	53
(9)千葉県発達障害者支援センター	54
千葉県障害者福祉センター	56
いきいきプラザ・センター	58
いきいきプラザ内デイサービスセンター	62

### 関連資料【組織図】

※本事業報告書は、本会定款第40条第1号及び第2号に規定する事業報告及び事業報告の附属明細書を原則、実施事業の取組項目ごとに併記して作成しています。

# 本書の構成

会議等

令和5年度事業計画における重点項目

実施事業

令和5年度事業を部門別に本会以下計画の取組項目に沿ってまとめています。

<法人経営部門>

「シン・経営改善計画2022」

<地域福祉部門>

「第7次地域福祉活動計画」

<施設福祉部門>

「シン・経営改善計画2022」

## 【 記載内容の説明 】

施策の方向性1 学びの場をつくり、福祉人材を育成する

↑

活動計画における施策の方向性

<活動計画取組項目2>

○ 福祉教育の推進【地域福祉推進課】

(市補・会費・共募・V基) 4,066千円 [ 4,267千円] 3,730千円

↑  
財源※

↑  
令和5年度決算

↑  
令和4年度決算

↑  
令和5年度当初予算

※財源の表記例

市補：市補助金

会費：社協会費

共募：共同募金配分金

V基：ボランティア基金

# I 会議等

## 1 理事会

### <第1回> 令和5年6月12日(月)

- 議案第1号 令和4年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算  
議案第2号 令和4年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業報告  
議案第3号 令和4年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会決算  
議案第4号 令和5年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算  
議案第5号 令和5年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等賠償責任保険  
契約締結  
議案第6号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事務分掌規程の一部改正  
議案第7号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事候補者の選任  
議案第8号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会監事候補者の選任  
議案第9号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員候補者の選任  
議案第10号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会会計監査人の報酬  
議案第11号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会定時評議員会の開催  
以上、原案のとおり議決  
報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況報告  
報告第2号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会シン・経営改善計画2022の  
報告  
報告第3号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第7次地域福祉活動計画の報告

### <第2回> 令和5年6月29日(木)

- 議案第12号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の  
選定  
議案第13号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部  
改正  
以上、原案のとおり議決

### <第3回> 令和5年12月4日(月)

- 議案第14号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会定款の一部変更  
議案第15号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事務分掌規程の一部改正  
議案第16号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会経理規程の一部改正  
議案第17号 令和5年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算  
議案第18号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会就業規程の一部改正  
議案第19号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の  
一部改正

- 議案第20号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員候補者の選任  
議案第21号 令和5年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会定時評議員会の開催  
以上、原案のとおり議決  
報告第4号 会長及び常務理事の職務執行状況報告

<第4回> 令和6年3月18日(月)

- 議案第22号 令和5年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算  
議案第23号 令和6年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業計画  
議案第24号 令和6年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支予算  
議案第25号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会決裁規程の一部改正  
議案第26号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会法人印規程の一部改正  
議案第27号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償並び  
に旅費に関する規程の一部改正  
議案第28号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会就業規程の一部改正  
議案第29号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部  
改正  
議案第30号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員経理規程の一部改正  
議案第31号 令和6年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等賠償責任保険  
契約締結  
議案第32号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員候補者の選任  
議案第33号 令和5年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第3回評議員会の開催  
以上、原案のとおり議決  
報告第5号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部  
改正  
報告第6号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会人材育成方針の策定  
報告第7号 和陽園再整備に係る基本計画

## 2 評議員会

### <第1回> 令和5年6月29日(木)

- 議案第1号 令和4年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 議案第2号 令和5年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 議案第3号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事の選任
- 議案第4号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会監事の選任
- 議案第5号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員の選任

以上、原案のとおり議決

- 報告第1号 令和4年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業報告及び決算
- 報告第2号 会長及び常務理事の職務執行状況報告
- 報告第3号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会シン・経営改善計画2022の報告
- 報告第4号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会第7次地域福祉活動計画の報告

### <第2回> 令和5年12月14日(木)

- 議案第6号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会定款の一部変更
- 議案第7号 令和5年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 議案第8号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員の選任

以上、原案のとおり議決

- 報告第5号 会長及び常務理事の職務執行状況報告

### <第3回> 令和6年3月27日(水)

- 議案第9号 令和5年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算
- 議案第10号 令和6年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業計画
- 議案第11号 令和6年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支予算
- 議案第12号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償並びに旅費に関する規程の一部改正
- 議案第13号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員の選任

以上、原案のとおり議決

- 報告第6号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会人材育成方針の策定
- 報告第7号 和陽園再整備に係る基本計画

### 3 地域福祉活動計画推進委員会

#### <第1回> 令和5年5月24日(水)

議題(1) 委員長・副委員長の選任について

議題(2) 第7次地域福祉活動計画(令和4～8年度)の令和4年度の進捗状況について

議題(3) その他

#### <第2回> 令和5年11月17日(金)

議題(1) 第7次地域福祉活動計画(令和4～8年度)の令和5年度上期進捗状況について

議題(2) サロンアンケートについて

議題(3) その他

## 4 内部管理体制の基本方針の運用

内部管理体制の基本方針に基づき、内部監査を実施し、適正な業務執行の確保に努めた他、以下のような取組を行いました。

### (1) 経営に関する管理体制

法令、定款等に従い理事会及び評議員会を開催し、事務事業執行状況を適宜報告することで理事及び職員等の職務執行の適正性を確保しました。

また、業務の効率化、効率的な経営の実現のため、業務執行機関からの独立性を有する会計監査人により、本会が作成する計算書類等の適正性について、監査を行いました。

### (2) リスク管理に関する体制

法人全体の情報セキュリティ対策として導入したセキュリティ対策ソフト（製品名：アップガード）の安定的な運用に加え、外部ベンダーを招聘し、最新の脅威動向などに関する情報セキュリティ研修を実施しました。

また、令和4年度に法人全体の事業継続計画（BCP）を策定しましたが、令和5年度においては拠点ごとにBCP計画を策定しました。

その他、引き続き各施設において感染症対策を行い、利用者及び職員への感染拡大防止に努めました。

### (3) コンプライアンスに関する体制

規律の保持について随時職員に通知するなどし、法令等の順守及び不正の未然防止に努めました。

### (4) 監査環境の整備

監事は理事会、評議員会に出席し、理事等の職務執行の適法性及び妥当性について監査したほか、令和5年度の理事及び会計監査人の執行について監査を行い、令和6年6月6日に監査報告書を作成及び会長に提出し、第1回理事会、定時評議員会にて報告しました。

## Ⅱ 重点項目

引き続き、法人運営の基盤強化や事業効果を高める効果的・効率的な法人運営に努めつつ、専門職を多く抱える旧千葉市社会福祉事業団の強みを活かしたコミュニティソーシャルワーク※<sup>1</sup>機能の充実を図りました。

また、コロナ禍において顕在化した新たな課題（デジタルデバインド※<sup>2</sup>等）に対応するため、地域福祉推進の仕組みを創意工夫し、持続可能で多様性と包摂性のある地域共生社会の実現に努めました。

### 法人経営部門

「シン・経営改善計画2022（令和4～7年度）」に基づき、以下の重点取組項目等により、社協らしさを踏まえた事業の企画運営を担う経営企画部門を強化するとともに、合併後の新たな社協職員像を確立し、法人全体の育成方針、目指すべき職員像を描いた人材育成計画を策定しました。併せて、新法人としての活動の「見える化」をより強く意識した戦略的な広報を進めました。

#### 1 経営・企画・財務部門の強化 P9

法人内部の連携強化による合併相乗効果を発揮するため、経営企画部門の人員体制を強化し、役員及び法人経営を熟知した管理職の会議体において法人の課題解決に努めました。

#### 2 人材育成・職員研修の充実 P11

法人全体の人材育成の柱となる育成方針を定め、目指すべき職員像や階層ごとに求められる能力やスキルを盛り込んだ人材育成計画を策定しました。

#### 3 効果的な広報戦略の策定 P13

職員が本会の存在意義やその価値をしっかりと理解するとともに、市民により分かりやすく、タイムリーな情報が「伝わる」ための仕組みについて情報収集に努めました。

※1コミュニティソーシャルワークとは…

地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する“個別支援”とそれらの人々が暮らす生活環境の整備や住民の組織化等の“地域支援”を統合的に展開・実践する援助技術のことです。

※2デジタルデバインドとは…

インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる情報格差のことです。

## 地域福祉部門

「第7次地域福祉活動計画（令和4～8年度）」に基づき、以下の重点取組項目等により、新しい生活様式を踏まえた「つなぐ・つながる・ひろめる」地域づくりに積極的に取り組みました。

### 1 見守り活動の促進 P18

住民同士による日常的な見守りや安否確認等が行われるよう、新規立ち上げや活動の継続に向けた支援を行いました。

### 2 地域支えあい活動の促進 P18

住民同士による生活支援等の支えあい活動が行われるよう、新規立ち上げや活動の継続に向けた支援を行いました。

### 3 ふれあい・いきいきサロンの促進 P19

高齢者が生きがいをもって、いきいきと暮らしていけるよう、地区部会が実施するサロン活動を支援しました。

### 4 コミュニティソーシャルワーク機能の強化 P21

「地域共生社会」の実現に向けて、複合化・複雑化した問題を受け止める多機関の協働による包括的な相談支援体制や住民等が主体的に地域生活課題を把握して解決を試みる体制の構築を図りました。

### 5 社会福祉法人の地域における公益的な取組の促進 P26

地域における公益的な取組が広がるよう、社会福祉法人を支援しました。

### 6 災害時の体制整備の強化 P27

災害ボランティアセンターの体制強化のため、平時から行政とNPO等の団体との三者連携や、本会職員とともに活動できるボランティアを養成し、発災時には速やかに災害ボランティアセンターを設置・運営できるように体制を整備しました。

## 施設福祉部門

「シン・経営改善計画2022（令和4～7年度）」に基づき、環境の変化にも柔軟に対応できる自律した経営を図るとともに適切な支援を提供します。併せて、地域福祉部門が有する人的資源と当部門が有する高い専門性と蓄積された、・技術による物的資源の更なる融合により、千葉市における福祉の増進に取り組みました。

### 1 和陽園再整備に向けた取組 P40

和陽園再整備基本計画策定に向け、再整備プロジェクト会議において委託事業者とともに検討を行いました。

また、千葉市と協議を行い、移転先の敷地面積を当初の6,100㎡から約7,200㎡に拡張したほか、今後の建築費等の高騰などに対応するため、「千葉市和陽園の事業譲渡に係る協定書」の一部改定を行いました。千葉県へは、「災害レッドゾーン区域に係る補助金」を希望する旨の調査票を提出しました。

### 2 療育相談所における待機期間の短縮並びに相談支援体制の充実 P43

令和5年度は、嘱託医師の勤務日数を増やしたほか、吃音・未歩行児童や紹介状を持参された方に対して先行して初診を案内するなどの取組により、初診予約までの待機期間を6か月程度に短縮することができました。

引き続き初回診察枠を確保し、相談体制を見直しながら、初回相談から診察までの待機期間の短縮を図ります。

### 3 いきいきプラザ内デイサービスセンター安定運営に向けた利用者の確保 P62

経営の安定化に向け、利用率の向上を図るべく、関係機関との更なる連携強化により新規利用者の獲得及び継続的な受入れを行いました。また、適用加算、利用者要介護認定区分、取得加算要件を継続的にモニタリングし収益確保に努めました。

### Ⅲ 実施事業 <法人経営部門>

#### 1 経営・財務運営

<取組項目 1 >

○ 経営・企画・財務部門の強化【総務企画課】 **重点**

法人内部の連携強化による合併相乗効果を発揮するため、経営企画部門の人員体制を強化し、役員及び法人経営を熟知した管理職の会議体において法人の課題解決に努めました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
政策決定会議	年 2 4 回	年 2 4 回	年 4 回

<取組項目 2 >

○ 民間財源の安定的確保【総務企画課】

社協会費収入及び共同募金配分金収入はコロナ禍前の額に回復できるよう努め、千葉市医師会等へ会員加入の依頼を行いました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
新たな財源開拓及び検証	3 件	0 件	1 件以上

<取組項目 3 >

○ 公費財源のあり方の見直し【総務企画課】

自由度の高い財産の確保を図るため、受託事業の剰余金が活用できるよう千葉市と協議し、課題の共有を行いました。

<取組項目 4 >

○ 事業収入の安定的確保（いきいきプラザ内デイサービスセンター）【総務企画課】

収支報告に関する会議体を設け、適切な経営管理を図りました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
収支説明会議	四半期ごと 年 4 回	四半期ごと 年 4 回	四半期ごと 年 4 回

## 2 法人組織運営

<取組項目 5 >

### ○ 中長期人材採用計画の策定【総務企画課】

中長期計画案を策定しましたが、県社協からの新規受託事業「特例貸付債権管理事業」により大規模な新規採用の機会を得たため、これらに対応した採用を行いました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
中長期人材採用計画	—	検討中	必要に応じ見直し
事務職採用	9 人	1 人	5 人

## 3 人事・労務

<取組項目 6 >

### ○ 地域福祉部門及び施設福祉部門の人事交流の実施と職務分類の整理【総務企画課】

人事交流の目標人員の達成、職務における職級の整理に努めました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
管理職	2 人	2 人	4 人以上
非管理職	3 人	2 人	4 人以上

<取組項目 7 >

### ○ 職場環境整備（メンタルヘルスケアの充実）【総務企画課】

地域福祉部門において、こころの健康状態が悪化する前に気軽に相談できる窓口を開設したほか、退職者の段階的な職場復帰に配慮しました。

## 4 給与制度の検証

<取組項目 8 >

### ○ 専門性の高い職務に係る処遇改善の検討【総務企画課】

職務内容を整理し、調整額または特殊勤務手当の導入などについて検討を行いました。

## 5 人材育成及び能力開発の推進

<取組項目 9 >

### ○ 人材育成・職員研修の充実【総務企画課】 **重点**

法人全体の人材育成の柱となる育成方針を定め、目指すべき職員像や階層ごとに求められる能力やスキルを盛り込んだ人材育成計画を策定しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
人材育成方針	育成方針及び人材育成計画の策定	検討したが策定できていない。	育成方針に基づいた人材育成計画の策定

<取組項目 10 >

### ○ 業務に係る資格の取得促進【総務企画課】

生活困窮などの複合的な課題に対応するため、高齢・障害・子どもなどの分野横断的で、かつ、多様なアプローチが求められることから、職員が持つ必要最低限の資格に加えて、業務能力の向上を目指した資格取得を促進しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
介護予防指導士	20人 (37.0%)	20人 (38.5%)	27人 (50.0%)
介護福祉士	39人 (86.7%)	37人 (86.0%)	41人 (95.3%)
社会福祉主事	101人 (89.4%)	98人 (87.5%)	99人 (91.7%)
社会福祉士・精神保健福祉士	46人 (27.5%)	44人 (26.8%)	48人 (29.6%)
認定看護師・専門看護師	0人(0%)	0人(0%)	0人(0%)

※ ( ) は、一行目からそれぞれ指導員、介護員、事務職、事務職・指導員、看護師の総数を母数とした当該区分有資格者の割合。

<取組項目 11 >

### ○ 人事考課制度の検証【総務企画課】

考課者に対して、人事考課研修を実施し、考課能力の習熟に努めました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
考課者への人事考課研修	実施	未実施	実施
管理職への考課結果 処遇反映のための人事考課	反映	開始	反映
非管理職への職員への考課結果 処遇反映のための人事考課	開始	—	開始

<取組項目 1 2 >

○ 目標申告・育成指導の実施【総務企画課】

非管理職についても目標申告制度（チャレンジシート）を実施し、人材育成を図る仕組みを導入しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
面接及び育成指導	年 3 回	年 3 回	年 3 回
非管理職への目標申告制度（チャレンジシート）	実施	試行実施	導入

## 6 危機管理対策の拡充

<取組項目 1 3 >

○ 業務継続計画（BCP）の策定【総務企画課】

災害や不測の事態でも重要業務を中断させず、必要なレベルで継続し、早期に復旧できるよう、各拠点（介護保険施設及び障害施設等）の業務継続計画を策定しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
業務継続計画（BCP）【法人】	策定済	策定	策定済
業務継続計画（BCP）【拠点】	策定	—	策定
BCP 職員研修	未実施	—	実施

<取組項目 1 4 >

○ 情報セキュリティ対策の実施【総務企画課】

引き続き、技術的対策による情報セキュリティに関するリスク低減に努めるとともに、研修により情報セキュリティに関する知識の習得を図りました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
新たなエンドポイントセキュリティ	導入済	導入済	導入済
情報セキュリティ研修	年 2 回	年 2 回	年 2 回

<取組項目 1 5 >

○ 感染症対策の実施【総務企画課】

感染症事故等の発生を防ぐ対策及び感染症事故発生後の法人内の対応体制を整備するため、現行マニュアルの棚卸を実施しましたが、新たな対策の項目立てや所管調整を行うには至りませんでした。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
感染症事故発生時の協力体制	整備	BCP 策定に伴い 現行マニュアルの 棚卸を実施	整備
感染症対策	実施・検証・ 見直し	—	実施・検証・ 見直し

## 7 広報戦略、効果的な事業実施の検討

<取組項目 1 6 >

○ 効果的な広報戦略の策定【総務企画課】

**重点**

職員が本会の存在意義やその価値をしっかりと理解するとともに、市民により分かりやすく、タイムリーな情報が「伝わる」ための仕組みについて情報収集に努めました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
広報戦略方針	策定済	策定	策定済
既存広報媒体の リニューアル	実施	一部実施	一部実施
戦略的広報検討体制	一部整備	検討	整備

<取組項目 1 7 >

○ 市との協議や効果的な事業実施のための要望活動【総務企画課】

地域福祉推進を図るため、本市の福祉課題について市と協議を進めました。引き続き、行政に対して社協事業に係る要望活動を行います。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
市との協議の場	年 1 0 回	年 9 回	年 1 2 回
市への要望事項提出	年 1 回	年 1 回	年 1 回
全所属長会議	未実施	未実施	年 4 回

## IV 実施事業 <地域福祉部門>

### 1 地域福祉活動計画に記載している取組項目

#### 施策の方向性1

#### 学びの場をつくり、福祉人材を育成する

<活動計画取組項目1>

#### ○ ボランティア活動等の推進

##### ・ ボランティア【地域福祉推進課】

(市補・会費・共募・V基) 4,011千円 [ 3,610千円] **4,120千円**

ボランティアの相談・登録を行い、ボランティア情報紙等を発行して、情報提供を行いました。

また、新たにボランティア活動に参加する人や既に登録しているボランティアに対し、多種多様なボランティア講座を開催し、人材の確保・育成に努めました。

(ボランティアセンターのお知らせ・ぼら☆とぴ)

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
発行回数	年 8 回	年 8 回	年 8 回

(ボランティア講座)

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
講座回数	3 3 回	3 7 回	3 3 回

(ボランティア登録人数)

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
新規ボランティア登録人数	2 2 7 人	2 3 5 人	2 0 0 人

・市民後見人【千葉市成年後見支援センター】

(受託金) 214千円 [ 187千円] 432千円

判断能力が十分でない方が安心、安全でより豊かな生活を送れるよう、将来、市民後見人として活動することを希望する住民に、成年後見人等に必要な知識等を習得する機会を提供しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
新規養成人数 (前期)	—	13人	—
新規養成人数 (後期)	12人	—	13人
候補者登録人数	87人	78人	100人
フォローアップ研修	1回	1回	1回

<活動計画取組項目2>

○ 福祉教育の推進【地域福祉推進課】

(市補・会費・共募・V基) 3,204千円 [ 4,066千円] 3,552千円

学校や地域等に福祉体験用具の貸出、本会職員による出前講座等を行いました。  
また、学校における福祉教育が円滑に行われるよう、学校教員や小・中学校の児童・生徒に対し情報紙や冊子を配布するとともに、教員向け福祉教育講座を開催しました。

なお、市立小・中学校6校を3年間、ボランティア活動推進協力校として指定し、企画・提案や助成金を通じて、学校が行う福祉教育を支援しました。

(福祉教育ニュース)

対象：小・中学校教員

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
発行回数	年2回	年2回	年2回

(わたしもぼくもボランティア)

対象：小学4年生から中学3年生

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
発行回数	年1回	年1回	年1回

(福祉冊子「やさしい気持ち」)

対象：小学4年生

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
発行回数	年1回	年1回	年1回

(福祉冊子「やさしい社会をつくる」)

対象：中学2年生

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
発行回数	年 1 回	年 1 回	年 1 回

(福祉教育講座)

対象：小・中学校教員

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
講座回数	年 1 回	年 1 回	年 1 回

(福祉用具貸出、講師派遣、訪問等)

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
実施件数	1 4 1 件	1 7 5 件	5 5 件

※R 4 の従前カウント方法による実施件数は 299 件

<活動計画取組項目 3 >

○ 成年後見制度の普及・啓発【千葉市成年後見支援センター】

(受託金) 374 千円 [ 45 千円] 252 千円

認知症や知的障害、精神障害などのために判断能力が十分でない方の権利や財産を守ることができる成年後見制度について広く周知を図るため、ホームページによる情報提供、パンフレットの作成、講習会の開催及び講師の派遣を実施しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
ホームページによる情報提供	常時	常時	常時
パンフレットの配架	常時	常時	常時
講習会等の開催	1 1 回	1 2 回	9 回
講師派遣（出前講座）の実施	1 4 回	1 8 回	1 2 回

<活動計画取組項目 4 >

○ 地区部会活動従事者に対する研修の実施【地域福祉推進課】

(会費・共募) 228 千円 [ 368 千円] 261 千円

地区部会活動従事者を対象に、地域の福祉課題の発見・把握・課題解決につながるための知識や情報を習得してもらうため研修会を年 4 回開催しました。

<活動計画取組項目 5 >

○ 民生委員・児童委員に対する研修の実施

・ 民生委員・児童委員全体研修等【社会福祉課】

(受託金) **803 千円** [ 448 千円] **803 千円**

民生委員・児童委員を対象に、民生委員・児童委員としての人格識見の向上と職務を行ううえで必要な知識及び技術の修得のため、民生委員・児童委員全体研修、地区民児協会長・副会長研修を開催しました。

なお、全体研修会は、千葉県文化会館改修工事に伴う休館により、千葉市民会館へ会場を変更したため、規模を縮小しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
研修数	2 研修	2 研修	2 研修
受講者数	全体研修 806 人 会長・副会長研修 220 人	全体研修 530 人 会長・副会長研修 226 人	全体研修 1,528 人 会長・副会長研修 252 人

・ 主任児童委員研修【総務企画課】 (予算は P.29 指定管理の研修に含む)

主任児童委員を対象に、活動に必要な知識を習得するための研修を年 1 回実施しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
研修数	1 研修	1 研修	1 研修
受講者数	68 人	28 人	81 人※

※受講済の主任児童委員を対象外とし、目標値を修正しました。

## 施策の方向性 2

## 身近な地域で支援が届くしくみをつくる

<活動計画取組項目 6 >

### ○ 見守り活動の促進【地域福祉推進課】 **重点**

(共募) **1,255 千円** [ 1,235 千円] **1,415 千円**

ひとり暮らし高齢者等に対して、日常的な見守りや声かけによる安否確認等により、安心して地域で暮らせるよう見守り活動の仕組みづくりを支援するとともに、活動を実施する地区部会（町内自治会）に助成しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
地区部会エリア数	4 1 地区部会 エリア (267 町内自治会)	3 4 地区部会 エリア (251 町内自治会)	3 7 地区部会 エリア

<活動計画取組項目 7 >

### ○ 地域支えあい活動の促進【地域福祉推進課】 **重点**

掃除や買い物などの生活行動の一部が困難な方等のために、安心して地域で暮らせるような仕組みづくりを区事務所から地域の各種団体・機関へ働きかけるとともに、活動の継続に向けた支援を行いました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
地区部会エリア数	2 7 地区部会 エリア	2 6 地区部会 エリア	2 8 地区部会 エリア

<活動計画取組項目 8 >

### ○ 子どもの居場所づくりへの支援【地域福祉推進課】

(共募) **8 千円** [ 8 千円] **8 千円**

千葉市こども食堂ネットワーク（以下「ネットワーク」）の月例情報交換会に参加しました。

また、本会ホームページ内「子ども食堂ほしいものリスト」の機能拡充や民間団体等助成金申請を希望する子ども食堂への申請補助、ネットワーク主催事業との共催など、関係団体との関係づくりに努めました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
取組内容	ホームページ更新 情報交換会開催	ホームページ更新 情報交換会開催	ホームページ更新 情報交換会開催

### 施策の方向性 3

### いきいきと暮らせる地域をつくる

<活動計画取組項目 9>

#### ○ ふれあい・いきいきサロンの促進【地域福祉推進課】

**重点**

(市補・会費・共募) **5,390 千円** [ 4,130 千円] **5,130 千円**

地域の中に高齢者同士の語らいの場を設け、閉じこもり防止や寝たきり、認知症の予防を行うとともに、高齢者の仲間づくりを図ることを目的としたサロンを実施する地区部会を支援しました。

また、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、助成金の交付基準の緩和を継続し、事業の促進に努めました。

さらに、施設福祉部門の専門職をサロン活動に派遣し、活動内容の充実を図りました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
地区部会数	6 1 地区部会	5 6 地区部会	5 7 地区部会
実施回数	3, 5 9 3 回	2, 7 5 3 回	3, 4 2 0 回
参加者・ボランティア 延べ人数	5 4, 7 3 9 人	3 7, 4 7 9 人	5 8, 1 4 0 人

<活動計画取組項目 10>

#### ○ ふれあい・子育てサロンの促進【地域福祉推進課】

(市補・会費・共募) **870 千円** [ 657 千円] **858 千円**

子育て中の親子が自由に集い、ボランティアとともに交流を通して、仲間づくりを目的としたサロンを実施する地区部会を支援しました。

また、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、助成金の交付基準の緩和を継続し、事業の促進に努めました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
地区部会数	5 1 地区部会	4 1 地区部会	4 4 地区部会
実施回数	5 8 0 回	4 3 8 回	5 7 2 回
参加者・ボランティア 延べ人数	1 0, 2 3 9 人	7, 6 1 4 人	1 7, 1 6 0 人

<活動計画取組項目 1 1 >

○ ふれあい・散歩クラブの促進【地域福祉推進課】

(市補・会費・共募) 480千円 [ 448千円] 486千円

高齢者とボランティアによる散歩を通して、閉じこもりの防止や健康保持を目的とした活動を実施する地区部会を支援しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
地区部会数	26 地区部会	24 地区部会	27 地区部会
実施回数	480回	448回	486回
参加者・ボランティア 延べ人数	5,054人	4,625人	6,318人

<活動計画取組項目 1 2 >

○ ふれあい食事サービス事業への支援【地域福祉推進課】

(会費・共募) 1,699千円 [ 980千円] 3,137千円

ひとり暮らし高齢者等を対象に心身の健康保持と社会参加を目的とし、ボランティアや福祉施設等の協力を得て、会食や配食を実施する地区部会を支援しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
地区部会数	23 地区部会	11 地区部会	29 地区部会
実施回数	155回	88回	278回

<活動計画取組項目 1 3 >

○ 多世代交流等の推進【いきいきプラザ】

4か所のいきいきプラザで高齢者だけにとらわれず地域で暮らす多様な方々が交流できる場を設け、地域の仲間づくりを支援し、助けあい、支えあいの意識の啓発に結びました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
実施箇所数	4か所	2か所	2か所

## 施策の方向性 4

## どんな相談にも寄り添う体制をつくる

<活動計画取組項目 1 4 >

### ○ コミュニティソーシャルワーク機能の強化【地域福祉推進課】

**重点**

様々な困難を抱えた方の相談に応じ、地域団体や相談機関等との連携を通じて課題解決に向けた支援をするとともに、コミュニティソーシャルワーカー（以下この項目において「CSW」という。）の課題共有、相互助言の場とする月例会議やCSW活動の評価検討を行いました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
CSW会議 (個別支援ケース検討)	年 1 2 回	年 1 2 回	年 1 2 回

※うち3回は、スーパーバイザーとして日本社会事業大学教授 菱沼幹男 氏を招き、事例検討会を実施しました。参加対象をCSWに限定せず、相談業務に従事する職員とし、コミュニティソーシャルワーク機能の強化に努めました。

<活動計画取組項目 1 5 >

### ○ 地域生活課題の解決に向けた支援

#### ・コミュニティソーシャルワーカー【地域福祉推進課】

支援の手が届かない制度の狭間にいる人たちに寄り添いながら、様々な関係団体・機関とのネットワークを構築・活用し、困りごとの解決に向けた支援を行いました。

#### ・生活福祉資金貸付事業【社会福祉課】

(受託金) **19,708 千円** [ 19,574 千円] **20,176 千円**

千葉県社会福祉協議会から、低所得世帯や障害者または高齢者の属する世帯に対して、無利子または低利で融資する貸付事業の一部を受託し、貸付けを行うとともに、借受世帯の自立と安定に向けた支援を行いました。

ア 貸付金の種別

資金の名称		申請件数 (件)	貸付件数 (件)	貸付金額
総合支援資金		1	0	0円
福祉資金	福祉費	52	40	10,967,000円
	緊急小口資金	149	129	12,051,900円
教育支援資金		157	152	167,701,200円
不動産担保型生活資金		0	0	0円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		0	0	0円
臨時特例つなぎ資金		0	0	0円
合計	R5	359	321	190,720,100円
	R4	1,229	735	301,089,100円

イ 各区事務所等貸付取扱状況

(件)

区分	総合支援資金	緊急小口資金 (特例)	福祉資金		教育支援資金	不動産担保型生活資金	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	臨時特例つなぎ資金	合計
			福祉費	緊急小口資金					
中央区	0	-	11	38	17	0	0	0	66
花見川区	0	-	6	27	19	0	0	0	52
稲毛区	0	-	4	20	39	0	0	0	63
若葉区	0	-	8	30	41	0	0	0	79
緑区	0	-	4	2	9	0	0	0	15
美浜区	0	-	7	12	27	0	0	0	46
合計	R5	0	40	129	152	0	0	0	321
	R4	138	251	46	149	150	0	1	0

・緊急小口資金等特例貸付債権管理事業【社会福祉課】

(受託金) **46,635千円** [ 30,180千円] **133,627千円**

新型コロナウイルス感染症の影響により収入減少があった世帯に貸し付ける緊急小口資金等特例貸付の借受人に対し、生活が安定しないなどの理由がある場合は適切に償還猶予及び免除の案内をしました。

長期滞納者については、フォローアップ支援の一環として生活状況把握のための電話連絡および生活相談会を実施し、自立相談支援機関等の関係機関と連携しながら、生活のお困りごとへの支援を行いました。

(件)

区分	取扱件数	償還免除件数	フォローアップ支援事業			
			支援対象者数	架電件数	生活相談会参加者数	
中央区	6,060	1,618	620	866	10	
花見川区	3,796	962	423	492	-	
稲毛区	2,894	832	287	696	-	
若葉区	3,548	952	369	668	6	
緑区	1,447	373	151	328	-	
美浜区	2,196	656	181	101	9	
合計	R5	19,941	5,393	2,031	3,151	25
	R4	-	-	-	-	-

・生活困窮者の自立促進【生活自立・仕事相談センター中央】

【生活自立・仕事相談センター美浜】

(受託金) 中央区 **40,500 千円** [ 39,587 千円] **40,500 千円**

美浜区 **23,256 千円** [ 13,559 千円] **23,256 千円**

生活保護に至る前の生活困窮者が、生活困窮から早期脱却するために、相談支援により抱えているニーズを把握し、本人の状態に応じた支援計画を策定するとともに、自立相談支援を包括的かつ継続的に、自立に向けた支援を行いました。

区分	場所	R 5	R 4	R 5 目標値
新規相談件数	中央	5 8 6 件	6 5 9 件	7 5 0 件
	美浜	3 2 8 件	2 6 7 件	3 5 0 件
プラン作成件数	中央	2 5 8 件	3 3 3 件	3 7 5 件
	美浜	1 3 8 件	9 3 件	1 7 5 件

・権利擁護支援【千葉市成年後見支援センター】

＜日常生活自立支援事業＞（利用料、市補） **44,129 千円** [ 46,076 千円] **53,776 千円**

認知症や知的障害、精神障害などのために判断能力に不安を抱える方が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、福祉サービスの利用手続や日常的な金銭管理に関する助言や手続代行等の援助をしました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
利用者数 (年度内延人数)	334人	353人	360人
(うち新規契約数)	(78人)	(86人)	
(うち解約・終了者数)	(87人)	(97人)	
市民活動者数	57人	60人	70人

＜法人後見事業＞（後見報酬、市補） **10,244 千円** [ 11,660 千円] **15,425 千円**

認知症や知的障害、精神障害などのために判断能力が十分でない方の権利や財産を守るため、成年後見人等を家庭裁判所から受任し、支援を行いました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値	備考
受任件数 (年度内延件数)	39件	42件	42件	—
(うち新規受任件数)	(6件)	(6件)		
(うち終了件数)	(10件)	(9件)		
市民活動者数	34人	31人	30人	家庭裁判所からの選任の有無を問わない

＜権利擁護に関する相談＞（受託金） **904 千円** [ 878 千円] **958 千円**

権利擁護に関する市民からの相談に応じました。

また、必要に応じて弁護士会や法テラスなどの関係機関と連携し不安や疑問の解消を図りました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
相談件数	4,329件	3,104件	2,000件
(うち弁護士が対応したもの)	(43件)	(41件)	

・生活支援コーディネーター【5区事務所】

(受託金) 25,680 千円 [ 25,643 千円] 25,680 千円

生活支援や介護予防サービスの体制整備推進を目的とした生活支援コーディネーター設置業務のうち、区域を対象とする生活支援コーディネーター（第1層）を受託しました。

また、日常生活圏域を活動する生活支援コーディネーター（第2層）へ活動支援、区域の総合調整、調査等を行いました。

## 施策の方向性 5

## 地域の様々な団体と連携・協働する

<活動計画取組項目 16>

### ○ 権利擁護のネットワークづくり【千葉市成年後見支援センター】

(受託金) 78千円 [ 91千円] **156千円**

千葉市とともに、千葉県弁護士会等の各種専門職団体、当事者団体、千葉市あんしんケアセンター、千葉市障害者基幹相談支援センター、千葉家庭裁判所などが参画する協議会を運営し、判断能力が十分でない方に対して適切な権利擁護支援が図られるよう、現状把握や意見交換等によって更なる連携強化を図りました。

<活動計画取組項目 17>

### ○ 大学と地域の連携の推進【地域福祉推進課】

子どもたちの安心・安全な居場所づくりのため、千葉経済大学、松波地区部会、中央区・稲毛区事務所が連携し、地域食堂を開設、子どもたちと地域住民、学生ボランティアによる交流の場、学習支援の場づくりを支援しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
実施校数	1校増 (計9校)	1校増 (計8校)	1校増 (計9校)

<活動計画取組項目 18>

### ○ 社会福祉法人の地域における公益的な取組の促進【地域福祉推進課】

**重点**

(会費) 157千円 [ 157千円] **195千円**

若葉区において、本会施設である和陽園と千城台東南・金親地区部会エリアの関係団体との連携による買物支援サービス事業が新たに立ち上がりました。また、白井地区部会が主催する敬老会に中野園（社会福祉法人高砂会）、ちば美香苑（社会福祉法人八千代美香会）、和陽園の協力による送迎バスの運行など新たに3法人と連携しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
実施法人数	31法人	28法人	3法人増 (計34法人)

<活動計画取組項目 19 >

○ NPO・団体との連携・協働【地域福祉推進課】

(共募) 11千円 [ 17千円] **32千円**

地域におけるNPO・団体の活動を把握するため、情報を収集しました。

<活動計画取組項目 20 >

○ 企業等との連携・協働【地域福祉推進課】

企業等からの相談に基づき、社会貢献活動の提案を行うとともに、企業等の取組の参考になるような事例を収集し、本会ホームページに掲載しました。

また、地域活動の活性化を図るため、企業等のSDGsの取組と連携しました。

<活動計画取組項目 21 >

○ 災害時の体制整備の強化【地域福祉推進課】

**重点**

(共募) 1,943千円 [ 1,355千円] **820千円**

災害時に本会職員と協働で運営できるスタッフを養成し、本会職員と運営ボランティアによる災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。

また、災害資機材の整備を図りました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
講座回数	年 2 回	年 2 回	年 2 回
訓練回数	年 2 回	年 2 回	年 2 回

## 2 地域福祉活動計画外の主だった事業等

### ○ 社協だよりの発行【総務企画課】

(共募) **2,943 千円** [ 2,663 千円] **2,903 千円**

社協の存在や地域福祉の現状を広く市民にPRするため、社協だよりを年4回発行し、各町内自治会での回覧や公共施設などへの配架を通じて、多くの市民へ情報を提供しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
発行部数	1回あたり 32,000部	1回あたり 32,000部	1回あたり 32,000部
発行回数	年4回	年4回	年4回

### ○ 会長表彰【総務企画課】

(共募) **678 千円** [ 513 千円] **562 千円**

千葉市において永年にわたり地域福祉の増進に貢献された方々を表彰し、感謝の意を表するとともに、本会の目指す“共に手を携える地域社会”の一層の進展を図ることを目的とし、本会会長表彰式を実施しました。

- ・期日：令和5年11月30日（木）
- ・会場：千葉市ハーモニープラザ1階 多目的ホール
- ・件数：特別表彰 2件
- 会長表彰 114件
- 会長感謝 16件
- 合計 132件

### ○ 「関東甲信越静岡ブロック都県指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づく支援【総務企画課・地域福祉推進課・社会福祉課】

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地を支援するための全国の社協職員が現地入りしています。本会も関東甲信越静岡ブロック都県指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定に基づき、次のとおり派遣を行いました。

- ・派遣期間 令和6年1月21日～3月25日
- ・派遣人数 5人

○ 指定管理の研修【総務企画課】

(受託金) 51,667 千円 [ 53,396 千円] 51,667 千円

感染症対策等を講じることによる対面研修受講率の向上と満足度を確保しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
実技を伴う 研修受講率	64.9%	62.0%	平均75%以上
実技を伴わない 研修受講率	89.2%	64.8%	平均85%以上
アンケート 総合評価	4.65点	4.65点	平均4.5点以上

・ 市民向けセミナーの実施

市民がいきいきと安心して地域で暮らせるよう健康や介護などをテーマとした市民向けセミナーを開催しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
研修数	30 研修	28 研修	28 研修
受講者数	590 人	483 人	491 人

・ 管理運営部門研修

健全な法人経営や適正な施設運営を図るため、社会福祉法人の経営者・施設長を対象に、法人経営・施設運営に関する専門知識についての研修を実施しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
研修数	3 研修	3 研修	3 研修
受講者数	40 人	23 人	60 人

・ 専門職研修

福祉・介護現場に従事する、介護職・ケアマネジャー・看護職・栄養士等の介護現場で働く専門職の方々を対象に、各々に求められる専門的知識や介護技術を習得するための研修等を実施しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
研修数	7 研修	7 研修	7 研修
受講者数	96 人	88 人	136 人

・行政職員研修

福祉担当者の資質の向上を図るため、7研修を実施しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
研修数	7 研修	7 研修	7 研修
受講者数	2 1 5 人	1 4 7 人	2 2 8 人

・専門課題研修

介護施設、事業所等に従事する方々に求められる、介護技術、医療・障害知識等について、テーマを設定し、知識・技能の向上を図りました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
研修数	2 6 研修	2 6 研修	2 6 研修
受講者数	4 5 7 人	3 6 8 人	4 6 4 人

・キャリア創生研修

キャリア創生研修では、業務を通じて求められる知識・技術について習得の機会を提供するとともに、受講者の方々が研修での体験を通して自らの将来像を描き、職業人生の意味を深め、その価値を高めることを狙いとして実施しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
研修数	6 研修	6 研修	6 研修
受講者数	3 0 6 人	1 8 1 人	1 2 0 人

・企画提案研修

幅広い分野から、利用者・従事者のニーズに対応する知識・技術をテーマとした研修を企画し実施しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
研修数	7 研修	7 研修	7 研修
受講者数	3 7 5 人	1 0 7 人	1 4 0 人

・生活援助型訪問サービス従事者研修（受託金） **866 千円** [ 847 千円] **866 千円**

介護保険利用者（要支援1・2）の居宅を訪問し、身体介護を伴わない生活援助型訪問サービス（掃除・洗濯・買い物・調理など）を実施する際のサービスの質や安全性を習得するための研修を実施しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
研修数	1 研修	1 研修	1 研修
受講者数	2 6 人	4 3 人	1 2 0 人

○ **社会福祉士養成課程におけるソーシャルワーク実習の実習生受入【総務企画課】**

社会福祉士養成課程におけるソーシャルワーク実習の実習生を受け入れ、各部署において社会福祉士として必要な知識及び援助技術を習得するための実習指導を行うとともに、実習プログラムの充実を図りました。

(社会福祉士養成課程ソーシャルワーク実習の実習生の受け入れ)

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
受入数	5 人	3 人	3～9 人

※新型コロナウイルス感染予防対策として受入人数を流動的に設定しています。

○ **社協賛助会員の拡大【地域福祉推進課】**

自主財源を確保し、地域福祉活動の継続的な推進を図るため、賛助会員の拡大を目指して積極的な働きかけを行いました。

昨年度に引き続き、千葉市老人福祉施設協議会、千葉市民間保育園協議会等関係機関や、新たに千葉市医師会・歯科医師会・薬剤師会等に対し、訪問による説明・入会案内を行いました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
賛助会員口数	10,000 円 5 口増 3,000 円 1 0 口増	10,000 円 1 1 口増 3,000 円 1 3 口増	前年度実績より 1 0 口増
会費納入方法	検討	検討	検討

※口数は、本会取り扱い分のみの実績

<会員の状況>

区分		住民会員 (1 口 200 円)	賛助会員 (1 口 3,000 円)	賛助会員 (1 口 10,000 円)	会費収納額
地区部会	中央区	40,928 口	326 口	72 口	9,884,050 円
	花見川区	32,825 口	23 口	36 口	6,994,035 円
	稲毛区	28,928 口	92 口	32 口	6,383,759 円
	若葉区	22,197 口	7 口	18 口	4,640,550 円
	緑 区	21,050 口	20 口	7 口	4,340,000 円
	美浜区	24,806 口	55 口	17 口	5,306,356 円
地区民児協	花見川区	145 口	4 口	1 口	51,000 円
	若葉区	50 口	—	—	10,000 円
本会取扱分		30 口	72 口	76 口	984,000 円
合 計	R5	170,959 口	599 口	259 口	38,593,750 円
	R4	172,757 口	622 口	249 口	38,914,916 円

○ 地域ふくし力アップ助成金の活用等による地域の仕組みづくりの推進【地域福祉推進課】  
 (その他) 160千円 [ 445千円] 1,960千円

地域の特性や市民の意向を踏まえ、コミュニティソーシャルワーカーが相談・助言等を行い、地域福祉の活性化及び地域における福祉課題の解決を図るため、市民が自主的に行う事業に要する経費について、2団体に助成しました。

引き続き、コミュニティソーシャルワーカーを中心として、区事務所が、各種団体・関係機関と連携し、地域特性に合わせた福祉の課題の解決に向けた取組や仕組みづくりに努めます。

○ ボランティアグループ育成事業【地域福祉推進課】  
 (V基) 1,512千円 [ 1,532千円] 2,363千円

ボランティア基金より、ボランティアグループへの助成を行いました。

また、ボランティア活動を促進するための資金確保として、使用済み切手等を収集し、ボランティアの協力のもと仕分け作業を行い、売却収入をボランティア基金に積み立てました。

(ボランティアグループへの助成)

区 分	R 5	R 4
グループ数	68グループ	74グループ
助成金額	1,459,366円	1,542,884円

(使用済み切手等の収集量及び売却金額)

区 分	R 5		R 4	
	収集量	売却金額	収集量	売却金額
使用済み切手	89.3 kg	40,730円	117.2 kg	44,280円
使用済みプリペイドカード	16,400枚	820円	9,000枚	450円
合 計		41,550円		44,730円

○ ウクライナからの避難民に対する支援【地域福祉推進課】

・茶話会等の開催

千葉県生活協同組合連合会や諸団体とともに、「お茶しませんか」プロジェクトに参加し、県内避難者へ茶話会などを計4回開催しました。また、同プロジェクト終了後、本会主催の集いの場の提供を計5回実施しました。

・生活用品の提供

市内避難者へ衣料品や雨具などの生活用品を、計3回5箱届けました。

○ 団体事務局（民生委員児童委員協議会事務局）の運営【社会福祉課】

民生委員・児童委員が、複雑・多様化する地域生活課題に、適切に対応できるよう研修体系を構築し、研修環境の整備に努めました。

○ 団体事務局（日本赤十字社千葉県支部千葉市地区本部事務局）の運営【社会福祉課】

千葉市赤十字奉仕団員の募集記事を、「ちばし社協だより」に掲載しました。活動募金の募集については、引き続き感染対策に留意しながら実施しました。

○ 共同募金事業への協力【社会福祉課】

募金額の減少幅を縮小させるため、引き続き、街頭募金及びイベント募金を実施するとともに、広報用チラシを一般向けと企業・法人向けとして対象別に作成するなど、寄付者に対してよりわかりやすい広報に努めました。

また、例年協力いただいている企業に継続した協力を依頼するとともに新規開拓を図るべく訪問での依頼を行いました。

令和5年度は、あかいはね自動販売機の新規設置に至りました。

○ テーマ別地域生活課題解決応援助成【社会福祉課】

**新規**

（共募） 471 千円 [ -千円] **530 千円**

様々な地域生活の課題解決に取り組む活動を応援するため、地域生活課題に応じた助成テーマを設定し、非営利活動団体等が行う地域福祉活動を支援しました。

令和5年度のテーマは「地域の居場所づくりに関する活動」とし、10団体に助成しました。

○ 保育士修学資金等貸付事業【社会福祉課】

(市補) 146,973 千円 [ 142,878 千円] 189,979 千円

・ 保育士修学資金貸付事業

質の高い保育士の養成確保に資することを目的として、指定保育士養成施設に在学し保育士資格を目指す学生に対し、修学に必要な資金の貸付を行いました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
貸付決定件数	78 件	86 件	100 件

・ 保育補助者雇上費貸付事業

保育所等における保育士の負担を軽減し、保育士の離職防止を図ることを目的として、保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に対し、保育士資格を持たない保育補助者の雇い上げに必要な費用の貸付を行う事業ですが、申請がなく実施していません。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
貸付決定件数	0 件	4 件	5 件

・ 保育料の一部貸付事業

未就学児を持つ保育士で、保育の仕事に就労することが決定している方に、保育料の一部について貸付を行いました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
貸付決定件数	33 件	32 件	40 件

・ 就職準備金貸付事業

潜在保育士が保育士として保育所等に勤務することが決定した場合、就職準備金の貸付を行いました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
貸付決定件数	27 件	21 件	25 件

○ ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業【社会福祉課】

(市補) 23,590 千円 [ 25,068 千円] 51,011 千円

・ 高等職業訓練促進資金貸付事業

ひとり親の資格取得支援を目的として、高等職業訓練に係る費用（入学準備金・就職準備金）の貸付を行いました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
入学準備金 貸付決定件数	5 件	1 1 件	1 0 件
就職準備金 貸付決定件数	3 件	6 件	1 0 件

・ 住宅支援資金貸付事業

ひとり親の自立促進を目的として、居住する賃貸住宅の家賃の貸付を行いました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
貸付決定件数	5 0 件	5 3 件	8 9 件

○ 施設団体等助成事業【社会福祉課】(共募) 2,489 千円 [ 2,180 千円] 3,904 千円

社会福祉団体や民間社会福祉施設が実施する地域福祉活動に要する経費を助成しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
団体補助金	1 0 団体	1 0 団体	1 3 団体
施設補助金	1 4 団体	1 0 団体	2 0 団体
歳末助成金	4 9 団体	5 4 団体	6 0 団体

○ 社会福祉事業振興資金貸付事業【社会福祉課】

(貸付資金) 21 千円 [ 28 千円] 16,231 千円

社会福祉法人等が設置運営する社会福祉施設の整備等に必要な資金を融資する目的で実施しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
償還元金	1, 2 0 0 千円	1, 6 0 0 千円	1, 2 0 0 千円
受取利息	1 3 5 千円	1 8 3 千円	1 3 5 千円
新規貸付額	0 千円	0 千円	1 6, 0 0 0 千円
新規貸付件数	0 件	0 件	2 件

○ **車椅子貸与事業【社会福祉課】** (共募) **234千円** [ 166千円] **517千円**

車椅子が必要な方へ2か月(最長6か月)を限度として、無償で貸し出し、利用者や介助者の利便性の向上及び経済的負担を軽減しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
貸出数	5 6 3 件	5 6 9 件	5 8 0 件

○ **緊急一時的な食糧支援事業【社会福祉課】**

フードバンクちばと連携し、生活困窮者へ緊急一時的な支援を行いました。

<食品配送申請受付件数>

区 分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
R5	334 件	58 件	10 件	12 件	11 件	41 件	466 件
R4	222 件	40 件	34 件	29 件	22 件	43 件	390 件

○ **放課後児童健全育成事業【児童育成課】**

(受託金) **2,242,722千円** [ 2,079,493千円] **2,242,722千円**

(その他) **3,917千円** [ 0千円] **3,638千円**

就労等により昼間家庭に保護者のいない児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図るとともに、保護者の子育てを支援しました。

区 分	R 5	R 4
子どもルーム数	1 1 5 か所	1 2 3 か所

○ 千葉市子どもナビゲーター事業【中央区事務所】

【美浜区事務所】

(受託金) 中央区 6,974 千円 [ 6,974 千円 ] 6,974 千円

美浜区 6,974 千円 [ 一千円 ] 6,974 千円

子どもの貧困対策として、経済的な困窮だけでなく、家庭環境などから基本的な生活習慣が乱れている子どもを支援するため、直接、子どもや家庭に対して生活習慣の改善を働きかけるとともに、様々な支援機関や関連事業につなげるなどの支援を行いました。

○ 重層的支援体制整備事業【千葉市福祉まるごとサポートセンター】

新規

(受託金) 17,527 千円 [ 一千円 ] 17,527 千円

分野・年齢・相談内容を問わず、福祉に関する困りごとを包括的に受け止める「福祉まるごとサポートセンター」において、支援対象者に必要な助言や情報提供を行ったほか、必要に応じて他の支援機関に繋がりました。

また、全体のコーディネート役として各関係機関の役割分担や支援プランの作成などを行いました。



## V 実施事業 <施設福祉部門>

千葉県桜木園

<実施事業> (受託金) **681,144 千円** [ 678,259 千円] 698,373 千円

事業名	定員
医療型障害児入所	50人
療養介護	
短期入所	5人
日中一時支援	
児童発達支援	20人
放課後等デイサービス	
生活介護	

### ○ 入所利用者の日中活動の充実と高齢化する利用者・保護者への対応

夏祭りにおいてチンドン屋さんを有償ボランティアとして招聘するなど、日中活動の充実を図りました。

成年後見制度の利用について、令和5年度に新たに後見人を選任した利用者はいませんでした。引き続き未選任者に対し、その制度の有用性を説明し利用を促します。

ターミナルケアについての職員研修を行い、受入体制を整えました。

人工呼吸器使用者の受入れについて、令和5年度は呼吸療法認定士の資格取得受け入れ人数とも目標値に至りませんでした。引き続き、挿管や気管切開を伴う人工呼吸器装着者の受入れの拡充を図ります。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
有償ボランティアの活用	実施	情報収集・選定	実施 情報収集・選定
成年後見制度の利用	実施	実施	実施
ターミナルケアの対応	実施	検討	実施
人工呼吸器使用者の受入	1人受入 未受講	1人受入 呼吸療法認定士2名	2人受入 呼吸療法認定士1名

○ 通所事業及び短期入所事業の利用者増と人工呼吸器使用者の受入対応

通所事業は、感染予防のため利用を自粛されていた方の利用再開や臨時利用の声掛けを行ったことにより、利用者数は増加しましたが、目標値には至りませんでした。

短期入所事業は、新規利用や受入数制限の緩和により、利用者数、稼働率とも増加しましたが、目標値には至りませんでした。

人工呼吸器使用者の受入れについては、安全、安心にご利用いただけるよう、呼吸療法認定士の資格取得を促しましたが、資格取得及び通所事業での使用者受け入れには至りませんでした。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
通所利用者数	1日平均11.3人	1日平均11.2人	1日平均14人
短期入所稼働率	85.3%	53.2%	92.0%
人工呼吸器使用者の受入	未受講	未受講	呼吸療法認定士講習受講

○ 入所利用状況

区 分	R 5	R 4
医療型障害児入所施設	725人	726人
療養介護	17,255人	17,279人

○ 在宅支援利用状況

区 分		R 5	R 4
短期入所	宿泊	349人	186人
	日帰り	17人	8人
日中一時支援事業		0人	0人
通所	児童発達支援	0人	0人
	放課後等デイサービス	13人	8人
	生活介護	2,735人	2,659人
障害児等療育支援事業	訪問療育相談	1人	0人
	外来療育相談	0人	2人
	地域生活支援施設支援一般指導	7人	0人
外来診察		1,172人	1,306人

<実施事業> (自主運営) 739,367 千円 [ 756,650 千円] 793,831 千円

事業名		定員
養護老人ホーム	長期入所	80人
	千葉県高齢者虐待等居室確保事業	3人
特別養護老人ホーム	長期入所	50人
	短期入所生活介護事業	4人
	千葉県緊急ショートステイ事業	2人
特別養護老人ホーム (ユニット型)	長期入所	30人
	短期入所生活介護事業	10人
訪問介護事業所・日常生活支援総合事業		—
居宅介護支援事業所		—

○ 和陽園再整備に向けた取組

**重点**

和陽園再整備基本計画策定に向け、再整備プロジェクト会議において委託事業者とともに検討を行いました。

また、千葉市と協議を行い、移転先の敷地面積を当初の 6,100 m<sup>2</sup>から約 7,200 m<sup>2</sup>に拡張したほか、今後の建築費等の高騰などに対応するため、「千葉市和陽園の事業譲渡に係る協定書」の一部改定を行いました。千葉県へは、「災害レッドゾーン区域に係る補助金」を希望する旨の調査票を提出しました。

区分	R 5	R 4	R 5 目標値
(仮称) 再整備基本計画	策定中	策定中	策定

○ 職員の資質向上に向けた取組

介護技術指導職員の配置及び職員個々のレベルに合わせた個別育成プログラムにより、職員全体の技量の底上げを図り、利用者サービスの質の向上に努めました。

区分	R 5	R 4	R 5 目標値
指導者育成研修の 受講	3人	3人	3人
育成プログラムの 作成	実施	実施	実施
成果の確認と面談の 実施	実施	実施	実施

○ 事業安定化に向けた取組

事業の安定運営には介護・看護人材の安定確保は不可欠であり、職員の定着化に向け、身体的・精神的負担の軽減やICT化等の業務の効率化について検討を行いました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
職場体験会の実施	1 回	1 回	4 回
メンター制度の導入	実施	検討	実施
外国人技能実習制度に関する調査と検討	実施	実施	実施

○ 地域交流事業の実施

地域交流事業を、年12回開催予定でしたが、新型コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ等の感染予防対策として、全て中止しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
地域交流事業	0 回/年	0 回/年	12 回/年

○ 買物支援サービス事業の検討

日常的な買物に不便を感じている高齢者等を支援する買物支援サービス事業の実施に伴う送迎車両と運転員の無償提供等について、若葉区事務所と連携し、事業実施に至りました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
買物支援サービス事業	週1回実施	協議継続	週1回程度

○ 養護老人ホーム利用状況

区 分	R 5	R 4
長期入所	25,504 人	27,646 人
高齢者虐待等居室確保事業	1,326 人	1,255 人

○ 特別養護老人ホーム利用状況

区 分	R 5	R 4
長期入所	18,286人	18,250人
短期入所生活介護事業	1,018人	1,279人
千葉県緊急 ショートステイ事業	308人	476人
千葉県特例短期入所	253人	35人

○ 特別養護老人ホーム（ユニット型）利用状況

区 分	R 5	R 4
長期入所	10,980人	10,950人
短期入所生活介護事業	3,554人	3,463人

○ 訪問介護、日常生活支援総合事業利用状況

区 分	R 5	R 4
サービス提供回数	32,027回	34,653回

○ 居宅介護支援事業所利用状況

区 分	R 5	R 4
ケアプラン作成	988人	1,142人



(1) 療育相談所

実施事業 (受託金) **253,723 千円** [ 234,631 千円] **267,423 千円**

心身の発達についての相談・診察に基づき、必要な支援を行う医療機関です。

○ 待機期間の短縮並びに相談支援体制の充実

**重点**

令和5年度は、嘱託医師の勤務日数を増やしたほか、吃音・未歩行児童や紹介状を持参された方に対して先行して初診を案内するなどの取組により、初診予約までの待機期間を6か月程度に短縮することができました。

引き続き初回診察枠を確保し、相談体制を見直しながら、初回相談から診察までの待機期間の短縮を図ります。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
初回相談から初診までの待機期間の短縮	6か月待ち	8か月待ち	2か月待ち
初診及び受理面接	年間668件	年間554件	年間755件※
研修プログラムの策定	一部の専門職において育成計画を策定しました。	内部研修を中心に行い、研修プログラム策定には至りませんでした。	実施

※R5年度事業計画目標値に誤植があり修正しています。

○ 利用状況

区 分		R 5	R 4
相談状況	新規相談	895人	1,005人
	来所相談	4人	21人
	受理面接	668人	554人
	再相談	2,890人	2,320人
	他機関連携・調整	741人	833人
	他機関への訪問	14人	25人
	計	5,212人	4,758人
診療状況	小児科	4,905人	4,689人
	整形外科	38人	51人
	精神神経科	232人	269人
	耳鼻咽喉科	338人	332人
	計	5,513人	5,341人
訓練評価	理学療法	232人	217人
	作業療法	437人	221人
	聴能・言語	780人	780人
	心理	1,050人	1,134人
	計	2,499人	2,352人
検査	X線	1人	10人
	脳波	0人	0人
	一般	351人	382人
	意見書発行	3人	15人
	計	355人	407人
再相談	理学療法	1人	3人
	作業療法	0人	0人
	聴能・言語	11人	4人
	心理	31人	23人
	計	43人	30人
他機関連携調整	理学療法	3人	0人
	作業療法	3人	0人
	聴能・言語	68人	26人
	心理	23人	22人
	計	97人	48人
他機関への訪問	理学療法	0人	0人
	作業療法	11人	0人
	聴能・言語	13人	0人
	心理	0人	2人
	計	24人	2人

(2) やまびこルーム

実施事業

(受託金) 72,895 千円 [ 74,641 千円] 78,330 千円

事業名	定員
福祉型児童発達支援センター	20人

○ 利用者満足度の向上及び出席率の向上

療育を行いながら、職員育成をすすめ、療育の質の向上を図るため、利用児の併行通園先などの関係機関への訪問や電話連絡を通じた連携強化のほか、保護者向けセミナーの実施回数を増やすなどの対応をしました。

また、出席率の向上を図るため、利用児が欠席した際は、別日に出席できるよう欠席振替の対応を行うよう努めました。

その他、指導日を固定から希望日制へと変更するなど、保護者のニーズに応えるよう努めた結果、利用者満足度の向上が図れました。

区分	R 5	R 4	R 5 目標値
利用者満足度	89.0%	76.0%	90%以上
出席率向上	82.2%	87.8%	前年度比較増

○ 利用状況

区分	R 5	R 4
福祉型児童発達支援センター	1,281人	1,637人
兄弟姉妹預かり事業	14人	18人

(3) すぎのこルーム

実施事業 (受託金) 104,451 千円 [ 107,421 千円] 113,676 千円

事業名	定員
医療型児童発達支援センター	10人
児童発達支援事業	20人
日中一時支援事業	1人

○ 医療型児童発達支援センター・児童発達支援事業における利用者満足度の向上及び利用延べ人数の向上

医療型児童発達支援センターについては、専門機関ならではの保護者ニーズに沿った一人ひとりの支援（療育内容、専門職の個別指導、個別保育、行事等）の充実を図ることにより、利用者満足度の向上や利用延べ人数の増加に繋げることが出来ました。

児童発達支援事業については、民間の預かり型児童発達支援事業所を希望する家庭が多かったことにより、利用延べ人数が減少した一方、歯科医師による摂食指導の勉強会（全3回）や、就学支援を行ったことなどにより、利用者満足度は目標値を達成することが出来ました。

区分		R 5	R 4	R 5 目標値
医療型児童発達支援センター	利用者満足度	93.9%	91.4%	90%以上
	利用延べ人数の増加	4.4% 増加	67.7% 増加	前年度比較増
児童発達支援事業	利用者満足度	93.2%	91.2%	90%以上
	利用延べ人数の増加	7% 減少	23.6% 減少	前年度比較増

○ 利用状況

区分	R 5	R 4
医療型児童発達支援センター	1,285人	1,231人
児童発達支援事業	1,364人	1,466人
日中一時支援事業	2人	3人
兄弟姉妹預かり事業	36人	70人

(4) 大宮学園ひまわりルーム

実施事業 (受託金) 182,479 千円 [ 184,681 千円] 189,534 千円

事業名	定員
福祉型児童発達支援センター	40人
日中一時支援事業	1人

○ 利用者満足度の向上及び出席率の向上

利用者の状況及びニーズに合わせた療育内容を提供し、保護者支援の充実を図りました。利用者満足度は昨年度と同様90%以上を維持することができました。昨年度より新型コロナウイルス感染症を理由として自粛する児童が減少したこともあり出席率は昨年度より微増しました。

区分	R5	R4	R5目標値
利用者満足度	91.3%	92.2%	90%
出席率向上	78.4%	77.0%	前年度比較増

○ 利用状況

区分	R5	R4
福祉型児童発達支援センター	7,349人	6,844人
日中一時支援事業	0人	0人
兄弟姉妹預かり事業	10人	0人

(5) 大宮学園たけのこルーム

実施事業 (受託金) 91,252 千円 [ 84,938 千円] 97,076 千円

事業名	定員
医療型児童発達支援センター	10人
児童発達支援事業	20人
日中一時支援事業	1人

○ 医療型児童発達支援センター・児童発達支援事業における利用者満足度の向上及び利用延べ人数の向上

感染症対策を徹底し、運営方針に沿って日々の療育活動や分離保育、行事等を実施しました。また、アンケート調査等のニーズを反映し、利用児童一人ひとりの個別支援計画に沿った保育内容の提供、保護者向け勉強会や保護者同士の情報交換の場の提供、個別相談の実施などの保護者支援に努めました。

また、預かり型児童発達支援事業所や保育所等と併行して利用する児童が増加しており、昨年度より契約者数が減少したこと（医療型15%減、児童発達支援52%減）も影響し、利用者延べ人数がそれぞれ減少しました。利用者満足度は、医療型、児童発達支援事業共に90%以上を維持することができました。

区 分		R 5	R 4	R 5 目標値
医療型児童発達支援センター	利用者満足度	100%	92.4%	90%以上
	利用延べ人数の増加	28%減少	10%増加	前年度比較増
児童発達支援事業	利用者満足度	94.8%	83.9%	90%以上
	利用延べ人数の増加	4%減少	4%増加	前年度比較増

○ 利用状況

区 分		R 5	R 4
医療型児童発達支援センター		5 6 3 人	7 8 5 人
児童発達支援事業		9 5 4 人	9 9 6 人
日中一時支援事業		0 人	0 人
兄弟姉妹預かり事業		4 人	4 人
診 察	精神科	0 人	0 人
	整形外科	1 5 人	1 7 人
	小児科	1 3 7 人	1 3 4 人
訓 練 評 価	心理	4 6 人	6 4 人
	理学療法	8 2 人	8 2 人
	作業療法	6 6 人	3 3 人
	言語療法	1 3 人	4 2 人

(6) いずみの家

実施事業

(受託金) 82,559 千円 [ 91,819 千円] 91,170 千円

事業名	定員
就労移行支援事業	6 人
就労継続支援 B 型事業	3 4 人
日中一時支援事業	3 人

○ 高齢化する利用者の施設利用継続に向けた支援

定期面談を利用し、ご本人だけでなくご家族を踏まえた課題や不安、ニーズを伺い、情報収集を行いました。また、必要な方にはグループホームや短期入所の利用を促し、将来を見据えた支援を行いました。併せて、ご家族からの相談がスムーズにいくように担当の計画相談支援事業所とも連携しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
支援プログラム	必要がある 3 人に対し作業従事時間の短縮対応を行った	定期面接にて延べ 39 人と意見交換を行った	試行
サービスの紹介等	グループホームの入居が 3 人、体験入居が 2 人、見学が 3 人に至った	20 人に紹介等を行った	実施

○ 利用状況

区 分	R 5	R 4
就労移行支援事業	3 3 人	2 7 6 人
就労継続支援 B 型事業	6, 1 2 7 人	6, 3 2 0 人
日中一時支援事業	1 2 6 人	1 0 3 人

(7) ふれあいの家

実施事業

身体障害者福祉センター

(受託金) 101,757 千円 [ 100,938 千円] 106,132 千円

更生相談事業	機能訓練事業
社会適応訓練事業	創作的活動事業
スポーツ・レクリエーション事業	ボランティア養成事業
施設貸出、その他の事業	

○ 多様な障害種別・障害状況・年齢層など幅広い利用者に合わせた教室や地域交流の充実

11の通年教室と共に、多様なニーズ、既利用者や新規利用者など幅広い方が参加できるように、短期教室として令和4年度に引き続きビームライフル・ヨガピリール教室を開催し、新たに言語聴覚士を講師とした「おしゃべりサロン」教室、字幕付与教室を実施しました。

また、利用者同士や一般市民の方が参加、交流できる行事としてモルック交流会・ふれあいフェスティバルの実施と、この他にふれあいの家で活動しているサークルの活動発表と交流を目的としたサークル発表会を開催しました。

令和5年度は短期教室を4種12回、交流会を3回開催し、年度の目標値を達成することができました。

今後も多様なニーズに応え、幅広い利用者の方が参加できるような様々な短期教室を開催すること、利用者の方の活動の幅が広がるように高評価であった短期教室の定期開催化を目指したいと思います。また、一般の市民の方も参加できる交流行事を継続していくことで、地域交流の充実と交流を通して障害に対する理解を拡げていけるような企画・運営に努めていきます。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
短期教室	4種12回	6種6回	4種4回以上
交流会	3回	2回	3回以上

○ 利用状況

区 分		R 5	R 4
	生活訓練健康相談	804人	1,168人
	機能回復訓練	442人	421人
	巡回訓練	17人	0人
	福祉バス	3,051人	1,533人
	福祉カー	347人	322人
	ヒアリンググループ	43日	34日
	声の市政だより	813人	863人
	体育室	7,247人	6,549人
	その他施設の利用	11,725人	11,770人
主 催 事 業	創作的活動事業	862人	1,128人
	社会適応訓練事業	137人	120人
	ボランティア養成事業	1,882人	1,817人
	スポーツ・レクリエーション事業	1,150人	1,225人

(8) 相談支援事業所ぱれっと

実施事業 (受託金) 41,208 千円 [ 44,413 千円] 42,160 千円

障害児相談支援	基本相談支援	計画相談支援
---------	--------	--------

○ 相談支援を必要とする新規利用者への対応

相談支援を必要とする新規利用者を受け入れました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
新規利用者の受け入れ	27 人契約	22 人契約	10 人契約

○ 職員の専門性の向上

各職員が加算対象となる質の高い支援ができるよう専門研修（強度行動障がい支援者養成研修等）を計画的に受講しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
研修の受講	2 人受講	3 人受講	未受講者の受講

○ 利用状況

区 分	R 5	R 4
契約者数	636 件	676 件
新規相談	27 件	22 件
計画書（案）作成	640 件	656 件
計画書作成	672 件	676 件
モニタリング報告書作成	697 件	681 件
サービス提供時 モニタリング	158 件	164 件

(9) 千葉県発達障害者支援センター

実施事業

千葉県発達障害者支援センター運営事業

(受託金) 45,909 千円 [ 45,156 千円] 47,528 千円

千葉県発達障害等に関する巡回相談事業

(受託金) 20,203 千円 [ 19,275 千円] 20,708 千円

○ 地域支援体制の構築への取組

子育てアシスト、ペアレント・トレーニングのリーダー養成研修を実施し、講師派遣・機関支援については、案内配布の回数を増やし、対象・目的に応じて実施しました。これらの対外的事業を通して発達障害児・者支援を理解して、継続的に援助できる支援者の養成等地域支援体制の構築を目指しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
子育てアシスト	12 か所で実施	10 か所で実施 (申込は12 か所あったが2 か所は中止となった)	実施
リーダー養成研修	基礎・実務研修を実施	基礎・実務研修を実施	実施
講師派遣、機関支援への周知方法の見直し	年度当初にホームページへ掲載、所管課を通して案内を送付。 年間を通じて、ネットワーク会議や講師派遣時に改めて案内を配布。 講師派遣：38回 機関支援：88件	周知方法を見直し、ホームページへの掲載、所管課を通し、各機関へ個別に案内の送付を行った。	前年度の実施状況に応じて周知

○ 千葉市発達障害者支援センター運営事業利用状況

区 分		R 5	R 4
相談支援 発達支援	延べ支援件数	3, 234件	3, 230件
	情報共有等（調整会議）	31件	38件
	関係機関への助言 （機関コンサルテーション）	307件	318件
相談支援 就労支援	延べ支援件数	1, 058件	1, 198件
	情報共有等（調整会議）	14件	25件
	関係機関への助言 （機関コンサルテーション）	137件	140件
	職場拡大のための企業等への 啓蒙活動	0件	1件
関係機関に 対する普及 啓発及び 研修	(1) 主催又は共催企画研修	668人	733人
	(2) 外部への講師派遣	1, 956人	1, 206人
	(3) 教育関係者との合同研修会 （(1)及び(2)の再掲）	1, 369人	1, 218人
関係機関等 との連携	(1) 連絡協議会	1件	1件
	(2) 障害者総合福祉法第 89 条 協議会等への参加	6件	6件
	(3) 他の協議会への参加状況	13件	13件

○ 千葉市発達障害等に関する巡回相談事業

区 分		R 5	R 4
延べ訪問施設数		189か所	157か所
発達障害児等の発見数	延べ対象幼児数	363人	278人
	支援機関紹介人数	204人	137人
相談件数		401件	380件

実施事業

身体障害者福祉センター

(受託金) **73,888 千円** [ 74,520 千円] 73,888 千円

各種相談事業	機能訓練事業
社会適応訓練事業	スポーツ・レクリエーション、創作的活動事業
施設貸出事業	障害者等住宅改造相談事業
福祉機器関連事業	車いす貸出事業

○ 利用者ニーズに対応する講座の実施

障害者福祉講座の一層の充実を図るべく、アンケート等で要望のあった3講座（ちぎり絵・細方眼編み・リラックスストレッチ）を新規通年講座として開講しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
通年講座	3 講座開講	2 講座開講	2 講座開講

○ 障害者スポーツの普及啓発

千葉市の障害者スポーツを普及啓発していくため、スポーツ系の通年6講座、短期4講座を開講しました。また、スポーツ交流会を6回開催し、楽しみながらスポーツに興味を持っていただく機会を設けたことや、サマーフェスティバル及びハーモニープラザフェスタがコロナ5類移行に伴い従来の規模に戻ったことにより、同イベント内のパラスポーツ体験コーナーが拡大し、参加人員が大幅に増えました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
スポーツ交流会等の企画	6 回	5 回	5 回
関係機関との連携企画	2 回	2 回	1 回

○ 利用状況

区 分		R 5	R 4
生活・訓練・健康相談 医師との面談		1, 755人	3, 212人
訓 練	理学療法	181人	125人
	作業療法	84人	43人
	言語・聴覚療法	210人	144人
	視覚訓練	13人	10人
貸 出 施 設	多目的ホール	7, 150人	6, 219人
	屋外スポーツ広場	2, 154人	2, 325人
	S T T室	353人	10人
	会議室	404人	292人
	水浴訓練室	2, 206人	1, 446人
住宅改造		20人	11人
福祉機器展示コーナー※		1, 656人	26人
主 催 事 業	社会適応訓練事業 (外出体験・勉強会・教室)	39人	24人
	スポーツ・レクリエーション事業	997人	930人
	創作的活動事業	1, 503人	802人
	短期講座	168人	4人

※福祉機器展示コーナーについて、R4年度は感染症対策として部屋の施錠をし、見学希望者がいた場合に開錠して対応していましたが、R5年度よりコロナ禍以前と同様に部屋を開放し閲覧自由としたため大幅な人員増となりました。

実施事業 老人福祉センター

(受託金) 551,890 千円 [ 538,479 千円] 565,925 千円

生きがい活動支援通所事業

(受託金) 101,602 千円 [ 102,204 千円] 108,766 千円

○ 利用者数の増加に向けた取組

合併の効果を生かし、区事務所、地区部会と連携して地域ニーズを把握し、各区の特性や施設のハードに応じて対策しました。また、eスポーツや複数のいきいきプラザ間をオンラインでつないだ講演会等を新たな事業として実施し、生きがい活動支援通所事業など各種事業の定員の充足や新規利用者の割合の増加、継続利用者の確保に努めました。加えて、情報発信にSNSなどITを活用した広報や関係機関との連携で事業宣伝できるルートを拡大し、広報活動を強化しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
利用者数	502,904人	402,698人	623,809人

○ 介護予防事業の多様化の検討

介護予防の客観的効果を可視化し、介護予防に関する意識の高揚を図るとともに、今後の事業展開に反映させるため効果を把握しました。また、合併の効果を生かし、区事務所、地区部会等との連携により、介護予防に注力する施設ということを広く地域住民へ周知し、継続して介護予防に取り組む機会を提供しました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
講演会	152回	261回	18回
いきいき体操	549回	549回	300回
健康に関するイベント	87回	107回	30回

○ 地域における多世代交流等の推進に向けた取組

合併の効果を生かし、区事務所、地区部会と連携して、ふれあい・いきいきサロンや地域の高齢者グループを支援しました。また、地域の互助活動を進めるために、高齢者だけでなく、地域で暮らす多様な方々が交流できる機会を設けました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
新規の出張体操教室	7 2 団体	4 3 団体	1 2 団体
多世代等が交流するイベント	4 区	2 区	2 区

○ 老人福祉センター利用者数

施設名	R 5	R 4
中央	3 5, 6 4 9 人	2 9, 1 4 2 人
花見川プラザ	5 6, 5 7 6 人	3 0, 6 9 5 人
稲毛	6 4, 0 3 9 人	5 5, 9 5 2 人
若葉	6 0, 7 9 1 人	4 8, 8 3 6 人
緑	5 2, 5 1 1 人	4 6, 0 6 8 人
美浜	7 8, 5 2 3 人	6 5, 6 6 7 人
蘇我	1 9, 4 6 3 人	1 5, 0 0 8 人
花見川センター	2 1, 0 9 5 人	1 5, 7 8 6 人
さつきが丘	1 8, 7 0 6 人	1 6, 7 5 2 人
あやめ台	2 2, 8 6 0 人	1 8, 9 2 7 人
大宮	1 5, 6 2 1 人	9, 7 6 8 人
都賀	1 6, 8 2 6 人	1 4, 3 9 6 人
越智	1 2, 0 6 2 人	1 0, 6 7 5 人
土気	1 3, 1 5 8 人	1 1, 7 3 1 人
真砂	1 5, 0 2 4 人	1 3, 2 9 5 人
計	5 0 2, 9 0 4 人	4 0 2, 6 9 8 人

## ○ 老人福祉センター利用者数

(単位：人)

施設名	生活 相談	健康 相談	ボデイイア スクール	高齢者 福祉講座	高齢者 講演会	同好会	世代間 交流	浴室 利用	
中央	79	4,269	2,080	4,341	471	8,059	109	—	
花見川プ	134	3,427	2,066	5,425	480	10,385	77	13,785	
稲毛	127	4,221	2,218	5,545	607	19,552	188	9,717	
若葉	62	2,528	1,936	4,757	403	12,317	117	20,095	
緑	73	1,962	2,075	5,169	229	9,508	43	13,862	
美浜	101	2,868	2,263	6,187	436	23,515	107	—	
蘇我	16	4,014	603	976	154	6,373	520	—	
花見川セ	57	1,130	677	1,283	320	3,369	51	—	
さつきが丘	20	1,242	923	889	278	3,491	16	—	
あやめ台	77	2,071	739	919	566	2,685	567	—	
大宮	78	1,898	623	749	113	1,435	194	—	
都賀	166	1,963	614	873	198	4,814	71	—	
越智	36	1,720	752	945	168	2,902	18	—	
土気	72	1,742	758	916	246	1,941	87	—	
真砂	48	2,334	729	815	159	4,715	40	—	
合 計	R5	1,146	37,389	19,056	39,789	4,828	115,061	2,205	57,459
	R4	1,099	30,975	17,655	35,554	3,903	96,690	1,658	48,757

## ○ 生きがい活動支援通所事業利用者数

施設名	R 5	R 4
中央	2,781人	2,789人
花見川プラザ	1,894人	2,010人
稲毛	3,410人	3,327人
若葉	2,060人	2,327人
緑	1,829人	1,827人
美浜	3,308人	3,382人
蘇我	2,622人	2,527人
花見川センター	3,505人	3,440人
さつきが丘	2,534人	2,384人
あやめ台	3,135人	2,983人
大宮	1,702人	1,876人
都賀	3,491人	3,329人
越智	1,623人	1,366人
土気	2,380人	2,275人
真砂	2,435人	2,385人
計	38,709人	38,277人

○ 地域福祉サービス事業利用者数

施設名	体操教室	出張教室※	出張測定会	地区部会への 専門職派遣	
中央	407 人	91 人	1,968 人	17 人	
花見川プラザ	430 人	2,161 人	456 人	105 人	
稲毛	1,146 人	49 人	674 人	56 人	
若葉	126 人	210 人	225 人	46 人	
緑	436 人	248 人	458 人	0 人	
美浜	2,242 人	1,241 人	377 人	291 人	
蘇我	419 人	288 人	1,719 人	0 人	
花見川センター	322 人	1,424 人	384 人	214 人	
さつきが丘	288 人	368 人	0 人	490 人	
あやめ台	1,345 人	332 人	141 人	120 人	
大宮	146 人	993 人	299 人	35 人	
都賀	217 人	221 人	0 人	0 人	
越智	292 人	237 人	242 人	40 人	
土気	636 人	50 人	90 人	69 人	
真砂	246 人	572 人	68 人	46 人	
合計	R 5	8,698 人	8,485 人	7,101 人	1,529 人
	R 4	13,512 人	3,874 人	3,112 人	1,494 人

※出張教室は、体操・脳トレ・レクリエーション等

○ おゆみ野ふれあい館利用者数

区 分	R 5	R 4
おゆみ野ふれあい館	6,620 人	6,593 人

## いきいきプラザ内デイサービスセンター

### 実施事業

#### 通所介護、通所介護相当サービス

(自主運営) 250,859 千円 [ 251,018 千円] 270,192 円

### 利用定員

施設名	定員
中央いきいきプラザ内デイサービスセンター	32人
花見川いきいきプラザ内デイサービスセンター	31人
美浜いきいきプラザ内デイサービスセンター	35人

### ○ 収入確保への取組

日々の定員充足率、稼働率、目標金額を設定するとともに、目標達成に向け必要な対策を講じ、事業収入の安定確保に努めました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
定員充足率	95.5%	96.1%	100%
3施設平均の 1日あたりの収入 (年間収入)	272千円 (83,619千円)	273千円 (83,710千円)	247千円 (75,335千円)

### ○ 安定運営に向けた利用者の確保

重点

経営の安定化に向け、稼働率の向上を図るべく、関係機関との更なる連携強化により新規利用者の獲得及び継続的な受入れを行いました。また、適用加算、利用者要介護認定区分、取得加算要件を継続的にモニタリングし収益確保に努めました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
1日平均稼働率	83.4%	85.7%	85%
	中央区 26.2人 花見川区 26.0人 美浜区 29.5人	中央区 27.3人 花見川区 26.3人 美浜区 30.3人	中央区 27.2人 花見川区 26.3人 美浜区 29.8人

○ 非常勤職員の人材確保のための賃金アップとキャリアパス適正化

介護職員処遇改善加算等の取得を維持しつつ、配分ルールとキャリアパス（職務内容と経験等考慮）を有効活用し賃金体系の適正化に努めました。

区 分	R 5	R 4	R 5 目標値
非常勤給与体系、人事評価とキャリアパスを連携させるための検討	検討	—	検討

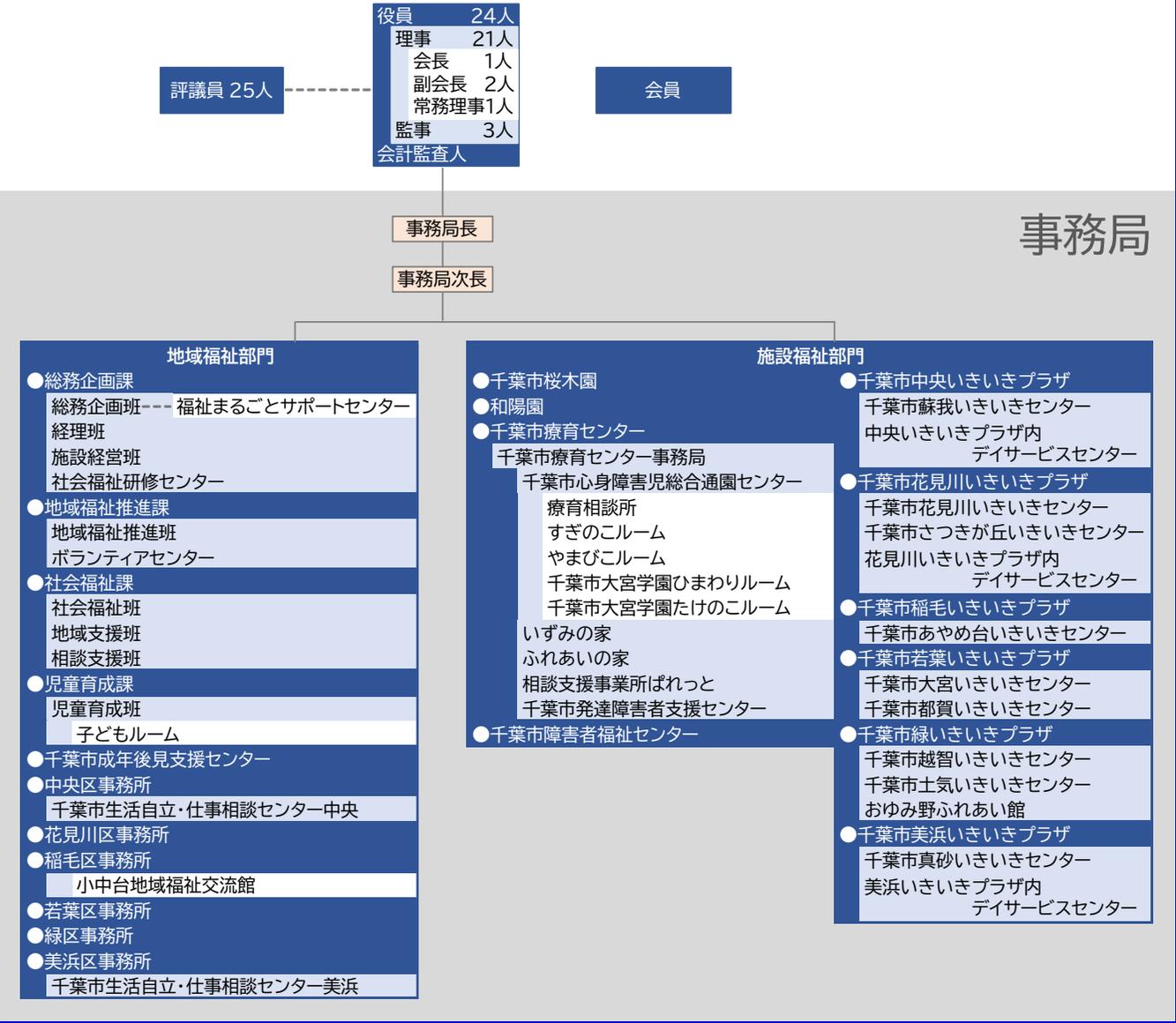
○ 通所介護利用者数

施設名	送迎	食事	入浴	個別機能訓練	口腔機能	延べ利用人数	
中央	14,912 人	7,487 人	6,284 人	5,908 人	92 人	7,509 人	
花見川	14,250 人	7,208 人	6,306 人	5,179 人	0 人	7,222 人	
美浜	15,728 人	7,853 人	6,450 人	5,790 人	0 人	7,963 人	
合計	R 5	44,890 人	22,548 人	19,040 人	16,877 人	92 人	22,694 人
	R 4	45,229 人	22,647 人	19,376 人	12,410 人	89 人	22,951 人

○ 通所介護相当サービス利用人数

施設名	送迎	食事	入浴	運動器機能訓練	延べ利用人数	
中央	1,060 人	531 人	241 人	438 人	531 人	
花見川	1,404 人	701 人	573 人	638 人	702 人	
美浜	2,279 人	1,171 人	880 人	1,133 人	1,171 人	
合計	R 5	4,743 人	2,403 人	1,694 人	2,209 人	2,404 人
	R 4	5,484 人	2,777 人	1,825 人	2,120 人	2,779 人

関連資料



 社会福祉  
法人 **千葉市社会福祉協議会**

〒260-0844

千葉市中央区千葉寺町1208-2

千葉市ハーモニープラザ3階

TEL: 043-209-8884

FAX: 043-312-2442

E-Mail: [info@chiba-shakyo.jp](mailto:info@chiba-shakyo.jp)